

表10.

症例2 21歳、男性、体重66kg、身長176cm 診断：急性リンパ性白血病 (FAB:L2)

臨床経過：2週間前より微熱、全身倦怠感を訴え近医を受診し、貧血を認め当院紹介となる。

WBC142,500/ $\mu$ L、Hb10.7g/dL、Plt120,000/ $\mu$ L、末梢血にリンパ芽球65%。上記診断にて寛解導入療法を行った。化学療法開始後7日後、Plt18,000/ $\mu$ Lとなった。出血傾向は特に認められない。なお、この時点では明らかな感染症を認めず、DICの所見もない。

・血小板輸血はどのように行いますか。

- 1：造血が回復するまで1週間に2-4回、血小板濃厚液を1回に10単位輸血する。
- 2：造血が回復するまで1週間に2-4回、血小板濃厚液を1回に15単位輸血する。
- 3：Pltが20,000/ $\mu$ L未満になったら血小板濃厚液を1回に10-15単位輸血する。
- 4：Pltが10,000/ $\mu$ L未満になったら血小板濃厚液を1回に10-15単位輸血する。
- 5：大量の鼻出血や内臓出血の徴候が出現しない限り、血小板濃厚液は輸血しない。
- 6：その他

回答	度数	パーセント	累積度数	累積パーセント
1	21	10.71	21	10.71
2	2	1.02	23	11.73
3	135	68.88	158	80.61
4	22	11.22	180	91.84
5	8	4.08	188	95.92
6	8	4.08	196	100